



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文師

前奏			
主の祈り	5 4 0	会衆	〃
賛美	聖歌 657 「雄雄しくあれ」		
聖書	ヨハネによる福音書 21：15-25		
祈禱	(新約聖書 p211)		
賛美	「主イエス様の恵み」	会衆	
説教	「ペテロと向き合われる主」	牧師	
祈禱			
賛美	2 4 3	会衆	
献金			
報告		司会	
頌祝	新生 6 7 2b	会衆	
祈禱		牧師	



第二礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

聖書：出エジプト2：1-10(旧約聖書 p95)
 メッセージ：「モーセの誕生」
 プレイズ：「主イエス様の恵み」「神の家族」
 賛美歌：新生 309 新生 495



ファミリー礼拝

説教：渡真利彦文牧師
 司会：渡真利千佳子姉

聖書：使徒 1：3～10
 メッセージ：「キリストの証人となる」

< 卷頭言 >

「こどもの日」

牧師 渡真利彦文

多くの人々が楽しみにしている大型連休に突入しました。しかし今年には新型コロナウイルス感染の拡大防止のため、自粛が求められ、ステイ・ホームの呼びかけが響いてきます。新型コロナウイルス感染で緊急事態宣言の中ですが、良いこともあります。それは家族が共に過ごす機会が増えたことです。家族崩壊といわれる現代ですが、家族のきずなを取り戻すチャンスとなります。私も家族と向き合い、食事をとる機会も増えたように思います。会議やミーティングや出張などがキャンセルとなり、自分の時間や教会・幼稚園で過ごす時間が増えました。ですから主なる神さまに心向け、また自分自身に向き合い、さらに周りに目を留める機会となったことに感謝する思いです。

そのような誰もが予期しなかった現状の中で、「こどもの日」や「母の日」を祝う家族の月を迎えます。特に鯉のぼりをあちらこちらで見ることができます。しかも水中の魚ではなく、空をかけ行く魚は、私たちクリスチャンにとって、「魚」はキリスト教の象徴なので、勇気百倍、顔もハレバレ、力がみなぎる思いがします。

「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちののである。」(マルコ 10:14) と言われて、子どもたちの上に手を置き、祝福されたイエス様こそ「こどもの日」の最大の理解者、支援者です。